

## 令和7年度 身寄りなし問題の実践研修会 開催要項

1. 目 的  
団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年にかけて、独居高齢者をはじめ単身者世帯が急増することが見込まれており、すでに全国で日常生活や入院入所の手続き、死後事務などを親族等に頼ることができない「身寄りなし問題」が顕在化しています。  
本研修会は、福岡市社会福祉協議会の実践事例からの学びや演習を通じて、参加者がそれぞれの地域でこの問題へ取り組む際の糸口を考える機会とします。
2. 主 催 社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会
3. 開催方法 会場での対面講座
4. 日 時 令和7年10月24日(金) 10:00~17:00 (受付開始 9:30 から)  
※情報交換会 17:30~18:30 (希望者のみ)
5. 会 場 五福の家 カフェスペース (福岡市南区若久 4 丁目2-3)
6. 定 員 40 人 ※一団体につき3名までとします。
7. 対 象 者 「高齢者等終身サポート事業」などの身寄りのない方への支援に関心のある、社会福祉協議会・自治体の役職員、その他団体の職員等
8. 参 加 費 5,000 円 (資料代含む)  
※後日メールで送付する「決定通知」に記載の振込口座宛に期日までに事前納入ください。(振込手数料はご負担ください。)  
※昼食の「月の木弁当」(800 円)及び情報交換会への参加(2,000 円)をご希望の方は、事前にお申込みの上、当日現金でお支払いください。  
※「月の木弁当」は、「社会貢献型空家バンク」によって誕生した、ボランティアによる高齢者や子育て世帯等向けの宅配弁当です。
9. 申込方法 Google フォーム(<https://forms.gle/aTttmEGAWxsNm3ht8>)  
【必要事項】①氏名(ふりがな) ②所属・役職 ③連絡先 ④参加理由  
⑤弁当の有無 ⑥情報交換会参加の有無  
※詳細は別紙「申込要領」参照
10. 受付期間 令和7年7月1日(火)~9月30日(火)  
※申込先着順で受付。申込状況により、早期に受付を終了することがあります。  
※多くの団体の方が参加できるよう、一団体あたりの参加者数を調整することがあります。



## 11. プログラム内容

時間	カリキュラム
10:00～ 12:00	<p><b>【総論①】「身寄りなし」が問題になる背景</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変化する社会情勢</li> <li>・身寄りがないことから生じる多様な生活課題</li> </ul> <p>○講師…事業開発課長：栗田将行</p> <p><b>【総論②】「制度の狭間」にある課題への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業(資源)開発</li> <li>・ファンドレイジングと「五福の家」</li> </ul> <p>○講師…事業開発課長：栗田将行</p> <p><b>【総論③】福岡市社協による地域支援活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を通じた「身寄りなし問題」へのアプローチ</li> </ul> <p>○講師…地域福祉課長：遠矢 理</p>
12:00～ 13:00	<p><b>【昼休憩】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶の無料提供あり</li> <li>・弁当は事前申込者のみ提供あり</li> </ul>
13:00～ 14:00	<p><b>【各論①】 死後事務委任事業を中心とした権利擁護支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死後事務の実践(好事例、トラブル事例)</li> <li>・死後事務委任に関連する法律や制度</li> </ul> <p>○講師…終活サポートセンター所長：吉田時成</p>
14:10～ 15:10	<p><b>【各論②】「身寄りなし問題」の周辺領域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親なき後」や「8050問題」との一体的解決</li> <li>・「居住支援」との親和性</li> <li>・「空家活用」による居場所づくり</li> </ul> <p>○講師…事業開発課長：栗田将行</p>
15:20～ 17:00	<p><b>【演習】我が町で「身寄りなし問題」を解決する方法を考えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優先して取り組むべきこと</li> <li>・取組みプランと活用できる社会資源</li> </ul> <p>○コーディネーター…終活サポートセンター所長：吉田時成</p> <p>○総括…事業開発課長：栗田将行</p>
17:30～ 18:30	<p><b>【情報交換会】 ※希望者のみ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催者や参加者同士による立食形式での情報交換</li> <li>・軽食、飲み物の提供あり</li> </ul>

## 12. 講師紹介



栗田 将行  
事業開発課 課長

飯塚市社協にて「権利擁護センター」の立上げ、運営に従事した後、2011年に福岡市社協へ入職。「住まいサポートふくおか」「親なき後支援事業」「五福の家」等、様々な形態の事業開発を行う。厚労省「地域共生社会の在り方検討会議」、国交省「高齢者住まい・生活支援伴走支援事業」等への委員就任や「地域福祉学会」等での講演多数。社会福祉士・行政書士



遠矢 理  
地域福祉課 課長

2002年入職。キャリアのうち、本部と区社協が半分ずつ。本部では、日自事業、生活福祉資金、総務等様々な部署を経験。区社協現場での思い出は、ある地域の課題(買い物)について、地域と地元企業と一緒に「買い物支援自動車」の立上げに関わったこと。2024年より現職。福岡市「地域包括ケアシステム推進会議 生活支援部会」等への委員就任。社会福祉士・精神保健福祉士



吉田 時成  
終活サポートセンター 所長

2016年入職。事業開発担当として「死後事務委任事業」、「社会貢献型空家バンク」等の立ち上げや運営に従事。

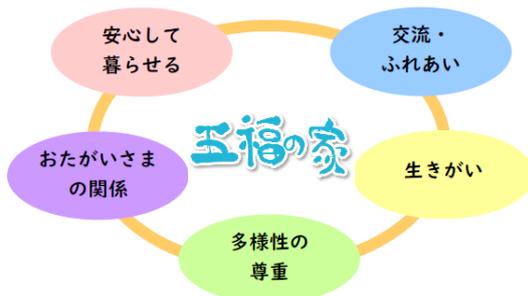
2022年より現職。終活を切り口とした身寄りのない方への支援が注目を集め、NHK「日曜討論」等へのメディア出演や、厚労省・自治体・社協等が開催する研修や福祉大会での講演など多数。社会福祉士・精神保健福祉士

## 13. 会場「<sup>こふく</sup>五福の家」とは

以前は醤油問屋「五福」が営まれてきた土地と建物を福岡市社会福祉協議会が譲り受け、地域のために活用してほしいとの想いを受け継ぎ、地域共生型の福祉拠点として令和7年4月19日にオープン。

### コンセプト

### 5つのテーマを掲げた複合型多機能拠点



・住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていく、“地域共生社会”を目指します。

・5つのテーマを踏まえ、高齢者の孤独・孤立問題、身寄り問題、子ども・若者問題などの解決を図るため、関係する複数の事業所や団体が活用し多様な事業を行う、複合型の多機能拠点を運営します。

### 「五福の家」事業内容

- みんなの集いの場  
地域カフェ、講座・教室、レンタルスペース等
- 福祉関係団体などの事務所  
介護などの福祉関係団体等の事務所として貸出し
- 自立援助ホーム【TIES(タイズ)】  
社会的な養護を必要とする若者の生活の場
- 地域の防災倉庫  
地域防災の備えとして消耗品などを保管・備蓄
- みんなの畑  
地域の方々が野菜等を育て、収穫する体験の場



## 14. アクセスマップ



### 公共交通機関のご案内

#### ●博多駅からお越しの方

- ①バス「博多駅前 C」乗車(66 那珂川営業所) → 「宮の下」降車 → 徒歩約1分 → 五福の家
- ②地下鉄七隈線「博多」乗車(橋本方面) → 「天神南」降車 → バス「天神南」乗車(61 那珂川営業所) → 「宮の下」降車 → 徒歩約1分 → 五福の家

#### ●福岡空港からお越しの方

- 地下鉄空港線「福岡空港」乗車(姪浜方面) → 「天神」降車 → バス「天神ビジネスセンター前」乗車(61 那珂川営業所) → 「宮の下」降車 → 徒歩約1分 → 五福の家

※近隣には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

## 15. お問い合わせ先

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会 相談支援課 終活サポートセンター(カ久・吉田)  
 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目3番39号  
 電話:092-406-0168 / fax:092-406-0169  
 Mail:miyorikenshu@fukuoka-shakyo.or.jp